

# 令和5（2023）年度概要

## 寄付講座・寄付研究部門

令和5年5月1日現在

部局名	講座・研究部門名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	運動器医療材料開発講座	平成19年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	運動器医療材料の開発や研究を行い、運動器医療の発展に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	先端循環器治療学講座	平成22年 4月 1日～ 令和 9年 3月31日	高度最先端循環器内科治療を地域に普及させるため
大学院医歯薬学総合研究科	地域医療人材育成講座	平成22年 5月 1日～ 令和 6年 3月31日	将来の岡山県の地域医療を担う人材の育成や地域医療の支援と連携に係る教育研究を行うとともに、その研究成果の普及を行い、県民の健康・福祉の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器知能化システム開発(帝人ナカシマメディカル)講座	平成22年 9月 1日～ 令和 6年 3月31日	インプラントデバイスの高機能化及びコンピューターテクノロジーを応用した手術支援システムによる運動器の再構築を目指し、その基礎研究結果を早期に臨床応用するため
大学院医歯薬学総合研究科	CKD-CVD地域連携包括医療学講座	平成23年11月 1日～ 令和 7年10月31日	CVD(心血管疾患)の専門家である循環器内科との密接な協力によりCKD(慢性腎臓病)医療の発展と末期腎不全患者数増加の抑制、心血管疾患合併の予防に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	小児急性疾患学講座	平成25年 4月 1日～ 令和 6年 3月31日	福山・府中圏域における小児救急医療に関わる医師の育成及び効果的な医療提供体制に関する研究を行い、将来に亘り持続可能な小児救急医療体制を構築するため
大学院教育学研究科	国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座	平成27年10月 1日～ 令和 6年 3月31日	地域の芸術・文化資源を活かした美術鑑賞手法の開発と実践教育、国吉康雄の作品及び画業と生き方の研究と顕彰、地域コミュニティと地域文化の発展に寄与する人材の育成のため
大学院医歯薬学総合研究科	陽子線治療学講座	平成27年12月 1日～ 令和 6年11月30日	陽子線治療について、学生や医療従事者への教育・啓蒙、精通した人材の育成、普及・周知活動、研究を通じて癌治療成績の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	高齢者総合医療講座	平成28年 1月 1日～ 令和 5年12月31日	三朝地域の医療機関における医療の質を維持・向上させ、最適な地域医療提供体制の整備・確立に寄与するとともに、地域医療を担う医師等の養成及び研修プログラムを開発するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器外傷学講座	平成28年 4月 1日～ 令和 8年 3月31日	骨折疾患に対する多角的な現状調査、実際の治療を通じて新規治療法の研究開発、骨折に対する若手医師や指導医などへの教育を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	地域救急・災害医療学講座	平成29年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	地域医療、救急医療、災害医療を総括して研究するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南東部(玉野)総合診療医学講座	平成29年 4月 1日～ 令和 6年 3月31日	医療過疎対策地域医療学分野の研究をより一層発展させ、地域社会へ貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南西部(笠岡)総合診療医学講座	平成29年 4月 1日～ 令和 6年 3月31日	総合医療など地域医療を担う医師等の養成及び現地ニーズに即した島しょ部医療に関する教育・研究を行い、地域医療の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県北西部(新見)総合診療医学講座	平成30年 4月 1日～ 令和10年 3月31日	地域医療・へき地医療における教育・研究を基盤とし、円滑で継続的な地域医療における医師の育成を支えるため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器スポーツ医学講座	平成30年 4月 1日～ 令和 6年 3月31日	スポーツに伴う運動器損傷に対する医療をスポーツ復帰に至るまで重点的に取り組み、スポーツ損傷の予防と治療に関する研究を行うことで選手の競技能力を向上させるため
大学院医歯薬学総合研究科	実践地域内視鏡学講座	平成31年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	内視鏡先進技術の開発と導入、及び地域医療機関における消化器疾患診療の構築について教育及び研究を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	瀬戸内(まるがめ)総合診療医学講座	平成31年 4月 1日～ 令和 6年 3月31日	瀬戸内地域医療に関する教育・研究拠点を設置し、総合診療医・総合内科医など地域医療を担う医師等の養成及び香川県丸亀地区のニーズに即した医療に関する教育・研究を行うとともに、その成果の普及を行い、瀬戸内沿岸地域医療の向上に寄与するため
大学院環境生命自然科学研究科	おかやまIoT・AIセキュリティ講座	令和元年10月 1日～ 令和 6年 3月31日	岡山県内の企業と大学の連携を包括的にコーディネートする新たな拠点を設置し、県内の大学等高等教育機関が積極的に地域産業と向き合うための仕組みを構築することで、県内の産学官連携を新たな段階へ発展させるとともに、県内中小企業におけるIoTセキュリティ等に関連した技術開発力・企画提案力等の向上の担い手育成に加え、企業と大学との接点づくりや共同研究等に参画する学生の発掘等を通じ、県内における新規雇用の創出や県内で学ぶ学生の県内定着に向けた意識付けを図り、県内産業の底上げを目指す
大学院医歯薬学総合研究科	くらしき総合診療医学教育講座	令和 2年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	倉敷地域の医療現場に近く、緊密な形で継続的な医師の育成を支援し、若手医師への臨床教育及び地域医療研究を実践し、本学と倉敷地域における医学教育連携を見える化するため
大学院医歯薬学総合研究科	周産期医療学講座	令和 3年 7月 1日～ 令和 8年 3月31日	産婦人科医の過重労働は医療的にも社会的にも大きな問題であり、働き方改革の中でも改善を要する課題である。将来に向けて安定的な産婦人科医の確保並びに育成を行い、持続可能な周産期医療体制の整備を進めるため
大学院環境生命自然科学研究科	木質材料学講座	令和 3年10月 1日～ 令和 7年 9月30日	カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略の中でも、とくに、経済と両立しながら温室効果ガス低排出型社会を目指すため
大学院医歯薬学総合研究科	赤磐(あかいわ)総合診療医学講座	令和 4年 4月 1日～ 令和 9年 3月31日	佐伯北診療所におけるプライマリケア診療とともに、赤磐医師会病院でのホスピタリストとしての診療とも緊密に連携しながら、現地での診療データの解析を通して、地域医療の課題解決に繋がる研究を展開するため
大学院環境生命自然科学研究科	微生物インダストリー講座	令和 4年 4月 1日～ 令和 6年 3月31日	日本に集積している微生物発酵技術・知識を、産学官連携による人材育成・地方創生・新たな技術開発の視点からさらに深化させ、微生物の力を産業利用する可能性を科学的に追求するため
大学院環境生命自然科学研究科	木質構造設計学講座	令和 4年 4月 1日～ 令和 8年 3月31日	産学官連携による人材育成、地方創生、新たな技術の開発及び新たな木材の需要喚起を推進するための新たな組織(木質構造設計、木質構造建築に関する教育研究分野)を大学内に設置し、大学が積極的に地域産業と向き合うための仕組みを構築するとともに、木造建築技術に関する高等教育の充実・発展、相互の連携、交流の推進を図ることで、岡山における産学官連携の発展に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	慢性腎不全総合治療学講座	令和 4年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	慢性腎不全とその治療、特に腹膜透析についての研究、教育、診療活動の礎として腹膜透析をはじめとした腎不全診療体制について学内および地域における体制拡充と連携を図り、全人的で質の高い腎不全診療に関する研究教育活動と医療の実践を可能とするため
大学院環境生命自然科学研究科	食品機能微生物学講座	令和 4年 6月 1日～ 令和 6年 5月31日	古細菌(アーキア)に着目し、ヒトとの共生関係、その生物学的意義及び食品の関与を解明することによって腸脳軸と腸内微生物叢との関係において新たな知見を得て、積極的に腸内微生物学を基盤として食品研究を推進することにより産学の発展に寄与し、優秀な人材を県内に呼び込む仕組みを構築するため
大学院医歯薬学総合研究科	周産期・小児救急医療学講座	令和 4年11月 1日～ 令和 9年10月31日	医師不足・少子化の進展に伴い、井原市では分娩や小児救急医療を扱う医療機関が不在となっており、こうした地域において若い世代が安心して出産・子育てができる環境を整備するという行政課題の解決及び最適な地域医療体制の構築に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	高梁(たかはし)総合診療医学講座	令和 5年 4月 1日～ 令和10年 3月31日	高梁市地域での総合内科医・総合診療医の活躍による地域連携の展開や、若手医師育成への要望は非常に大きく、地域医療・へき地医療における教育・研究を基盤とする寄付講座の設置により、円滑で継続的な地域医療における医師の育成を支えるため
大学院医歯薬学総合研究科	地域二次救急・災害医療推進講座	令和 5年 4月 1日～ 令和 8年 3月31日	地域の二次救急医療の推進と二次救急医療機関との連携を中心とした、地域の救急医療の在り方を研究するため
大学院医歯薬学総合研究科	臨床小児科学講座	令和 5年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	小児科医師不足の解消が困難視される中で、将来に亘り持続可能な小児医療体制とするために、「小児の総合医療拠点病院」を設置し、早期に効果的・効率的な医師の供給システム構築について実践的な活動を行うため
大学院ヘルスシステム統合科学研究科	癌幹細胞工学研究部門	令和 4年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	癌幹細胞を未分化細胞から人工的に調製する独自技術を活かし、生物工学的に研究し、これを診断・治療・医薬開発へ応用する技術を生社会実装することを目的とし、社会に貢献する。